

新栄校区

社協だより

2016年
4月号

新栄校区社会福祉協議会
佐賀市鍋島町大字八戸 新栄公民館内

新栄校区での、見守り・支え合い活動がスタート

ご近所お互い様の支え合い、つながりつくりをめざして

町区自治会行動計画の
実行を確認しました

一月二十一日、新栄校区見守り・支え合い活動のスタートに際しての活動研修会議を開催しました。

村岡智彦（元新栄小学校長）先生から、「地域のふれあいまちづくり」と題した講演のなかで、都市化、核家族化が進み、協働の精神や異世代交流の場がなくなっていく。人間関係の希薄化、孤立化が進んで社会人としての基礎力が低下している。そこを取り戻



していく活動が求められている。①町区でのつながり作り、②協働の場作り、③三世代一緒の活動作りの中から、校区民の助け合い、協力し合う町を作り上げていくことが大切という問題提起がありました。

それを受け、天祐一丁目自治会、新栄北自治会からの活動状況報告があり、ご近所でのつながり作り、支え合い活動を全町区で一月から具体的に展開していくことを確認しました。

具体的活動の内容については、各町区自治会ごとに行動計画が作られています。

町区民一体となって知恵を出し合い、取り組んでいきましよう

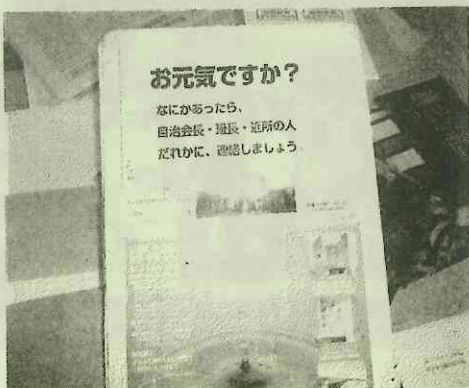
見守り・支え合い活動
自治会長会の取組み

みなさん、気付いていませんか？

一月から閲覧板の台紙にこんなステッカーが貼ってあります。

新栄校区自治会長会として、町区の中で助け合い、声掛け合いの活動が広がるようにと、取り組まれました。

支え合いの輪をみんなで作りましよう。



新年度から

町区福祉推進委員を選出

校区社協では二十七年度「見守り活動計画づくり」を各町区に提案し、町区の実情に応じた計画づくりが進められてきました。

今後はその計画がより充実し、実効性を高めていく活動が重要になりますし、日常的な「お互いさま」のつながりづくり、支え合う地域づくりを実践・実行していくために、最も身近である町区単位での人づくり、組織づくりが重要です。

町区の中での住民福祉活動推進の為、他町区との情報交換や情報共有、校区社協活動を活性化するために各町区で福祉推進委員を選出し、校区社協の強化と住民福祉活動の活性化を図っていくことになりました。

兵庫校区との研修交流会

福祉協力員制度と

ちよこボラ活動を研修

二月一六日、校区社協役員、まちづくり委員、民生委員、自治会長などで兵庫校区の見守り、ちよこボラ活動の研修交流会を開催しました。

町区自治会一名の福祉協力員を選出し、見守り、支援ボランティアの活動の展開、三ヶ月ごとの活動内容交流会議の開催、要支援者のマップづくりなど、今後の活動の参考に、有意義な研修となりました。



西部コロニー白石作業所への研修、交流会

2月1日、新栄ボランティア、民生委員会、校区社協役員で西部コロニー白石作業所で研修・交流会を開催。

通所者の歓迎の舞。
とても一生懸命踊ってくれました

